

< 6月第1例会報告 >

一年の振り返りと次期の課題

会長 田辺征一



2017-2018期は学園都市クラブから六甲部三役(杉本隆人部長、中村剛書記、藤井久子会計)を輩出した上に六甲部が西日本区大会を主催するなど、私自身かつて経験したことのない密度の濃いワイズダムな年であった。部長クラブ訪問の随行、他クラブの記念例会や大会実行委員会への出席を通して六甲部のこと、学園都市クラブのことが少し見えてきたかなと思っている。

6月の第一例会では、昨年度・今年度の課題についてあつく語り合った。内容を以下に示す。

1. 財政的に小さなクラブでは、ファンド事業はワイズ活動の大切な資金であり、昨年と同量のジャガイモと黒にんにくを販売する。特に、黒にんにくは記念例会などで積極的に販売し、試食もできるようにする。

2. これまで借用していた餅つき用のセイロなどを購入する。活躍の場はワイワイ祭り、チャリティラン、キッズプレイランドである。昨年は、イベント当日になっても、開始直前までつき手・まるめ手・返し手が揃うのかがわからず、大変不安であった。持続可能なイベントにするためにも人員確保が課題である。

3. 瀬戸山陰部の六甲部への編入については、7月7日の評議会で検討委員会の立ち上げが諮られるので、その後、問題点を整理して学園都市クラブとして意見をまとめる必要がある。

4. 25周年記念例会の開催については、6月に行われる「さんだクラブ25周年祝会」の様子を見てから開催の可否を考える。開催の場合は、実行委員長を決める。

5. 今期の第一例会のドライバーを決めておく。例会の会場づくり、司会進行、食事の場合はその手配などを担当する。

6. ゲストスピーカーを招いたときは食事会をする。その場合、会のプログラムを考えなおすことが必要である。

7. 岡山クラブとのDBC交流会を2018年秋に行いたい。ドライバーは中村ワイズ。

8. 福井での懇親会を2019年春に行いたい。ドライバーは館ワイズ。

9. 予定している例会の中で、地元のみなさんにも聞いていただきたい講演会や演奏会は一般公開する。今期予定している講演会は「山本育海君のお母さん」「脳卒中と後遺症」「アンダーコントロール」、演奏会は「フルート演奏会」などである。

2018-2019期の会長主題を「地域との触れ合いを通してクラブの成長と発展を!」とした。西神戸YMCAを拠点とする我がクラブは恵まれた環境にあると言える。幼児から老人まで多くの地域の人たちが西神戸YMCAとかかわっている。その人たちに我がクラブの活動ほどの程度知られているのだろうか。そういう意味において地域の人々と交流できる場を今年は多く持ちたいと思う。そのことを通してEMC事業に結びつくことを願っている。

< 7月事務例会議事録 >

書記 杉本隆人



・日時:2018年7月12日(木)

19:00~20:50

・場所:西神戸YMCA 402号

・出席者:佐伯、杉本、館、達、田辺、長坂、中村、野呂、藤井(信)、藤井(久) 以上10名

1. 報告事項

(1)西日本区大会 6/9・10(土・日)ANAクラウンプラザH、参加者:杉本、佐伯、田辺、中村、長坂、野呂、藤井(信)、藤井(久)

・フロント業務(受付)

・黒にんにく販売(野呂氏担当)

・DBC締結式(超ハイスピートの調印式)

・閉会後のDBC交流(北野のモンドールにて、東日本区宮内次期理事含む17名で懇親を深めた)

(2)さんだクラブ25周年祝会 6/23(土)pm2:00~ 三

田市総合文化センター

参加者:杉本、田辺、中村、野呂

コンパクトな記念例会で、とても良かった。

2. 協議事項

- (1) 副会長、2019-20 会長の件:継続審議
- (2) 新期役員・委員:田辺会長より正式発表
- (3) 会計報告、会計予算(案)の承認 佐伯会計より詳細報告、次期予算案の修正を行う。
- (4) 瀬戸山陰部編入検討委員会設立の件
クラブとしては、全員賛成
- (5) 25周年記念例会の件
あまり派手な例会でなくコンパクトなもので行うことを決定
- (6) 六甲部評議会 7月21日(土)13:30~神戸YMCA、懇親会 17:30~19:30 グリーンヒルH
参加予定者:佐伯、杉本、達、中村、長坂
- (7) 年間行事予定表
 - ・DBC交流会:担当 中村
10月末から11月に実施で、岡山ク・三浦さんと協議する
 - ・福井での懇親会:担当 館、
3月末から4月初旬がベター
- (8) DVD“西日本区新生ワイズ越し運動”
7月19日(木)例会時に行う予定
- (9) 今後の例会予定:(年間計画表参照)
 - ・7月19日(木)キックオフ例会「私のワイズ人生」卓話者 三浦克文(岡山クラブ)
 - ・8月5日(日)学園夏祭り
 - ・9月20日(木)卓話 山本智子(いっくんのママ)
(公開例会)
 - ・10月20日(土)ワイワイまつり
 - ・11月3日(土)チャリティラン
 - ・11月8日(木)公開例会
卓話:関 啓子(三鷹高次脳機能障害研究所所長)
「伝えたい、脳卒中とその後遺症」
 - ・11月 DBC懇親会 余島キャンプ場にて
 - ・12月 クリスマス例会
教職・学生リーダー・会員合同
 - ・1月 新年会 担当:丹家 日程未定
 - ・2月 アンダーコントロール(公開例会)
 - ・3月14日 フルート演奏会(公開例会)
担当者:藤井(久)、連絡は杉本より
演奏 河合久美子(京都ウエストクラブ)、
吉田由美(大阪なかのしまクラブ)
 - ・4月 老年医学(公開例会)

3. その他報告・協議事項

- ・ホームページ更新
 - ・YYまつり実行委員会 7/24(火)
田辺会長参加(田辺会長が実行委員長)
 - ・ラオス・ワークキャンプ参加者2名への支援
1クラブ 25,000円、学園ユースから2名参加
- ## 4. 今後の西日本区・六甲部行事予定(年間計画表参照)
- ◎ 西日本区大会評価会・慰労会 7月23日(月)17:30~21:00 ANAクラウンH ¥2,000
参加者予定 田辺、中村、長坂、杉本、藤井
 - ◎ 六甲部Yサ・ユース事業委員会 7月18日(水)18:00~ 芦屋市民センター クラブ例会
 - ◎ 神戸西クラブ例会(2名入会式) 7/17(火)
18:30~ 三宮神戸YMCA ¥1,500

六甲部長 1年間の活動を終えて

六甲部直前部長 杉本 隆人

まず、最初に、このような貴重な経験をさせてもらったことに、本当に感謝申し上げます。はっきり言って、辛いこともあり、楽しいこともあり、新しい出会いもあり、数々の行事にも参加させてもらい、感動の連続でした。

この一年のスタートは、神戸YMCA 三宮会館の開館とともに始まったと思います。

第一回の評議会から神戸YMCA チャペルでの開催したいために日程調整する段階で中々確定できず、案内が遅れて迷惑かけたことからのスタートでした。

今期は、入会者も沢山あり、六甲部としては、大きな会員増加と思っていましたが、六月末での結果は、会員一名減の132名となり、少しびっくりさせられました。取らぬ狸の皮算用では、10名以上増員かと思込んでおりましたが、自分の甘さを知りました。

また、六甲部は、周年記念行事が4クラブ、西宮クラブ70周年、宝塚クラブ25周年、神戸ポートクラブが30周年、芦屋クラブが20周年とそれぞれに節目でもありましたが、周年記念会合にすべて参加させてもらいました。

我がクラブも今期25周年を迎えることとなり、

盛大なものでなくてもいいから是非開催したいと願っておりますので、よろしくお願いいたします。

西日本区での各部会には、すべて参加してまいりましたが、各部での特徴がはっきりとわかりましたし、新しい出会いにも恵まれた部会でもありました。他の部での周年記念会合にもいくつか参加させてもらいました。

各事業別では、**国際・交流事業**は、例年通りローンボール大会を開催しておりましたが、台風の影響で開催することができませんでした。新しい試みとしてゴルフ大会を初めて六甲部にて開催することができました。出来れば恒例行事として継続してほしいものです。

Yサ・ユース事業としては、チャリティーランは、恒例としてしあわせの村にて開催され、わがクラブも餅つきを担当して大会を盛り上げました。

今年から名称をYYYフォーラムと改名して神戸YMCAに戻って来れたフォーラムとなり安堵しました。

地域奉仕・環境事業としては、芦屋クラブの五十嵐さんからスタートしたきらりと光る「アート」展も回を重ねる度に参加者も増えており、今期は、神

戸YMCAにて、神戸ポートの周年例会と共に開催されて、多くの方々に観てもらったことがとても嬉しかったです。

他にも、ベルマーク収集も六甲部全体の動きとして展開しつつあり、これも継続していきたいと感じております。

EMC事業としては、委員会をもっと多く開催し、新規クラブ設立に向けて現状を改革する案として仮称「会員サービス委員会」について協議を重ねており、これは永遠の課題として取り組んでいかなければならないものと痛切に感じました。

最後に六甲部として今回、理事の排出、西日本区大会開催という大役を果たしてきました。西日本区大会の開催では、実行委員長・石田さんを頭に六甲部が一丸となり、各クラブがそれぞれの委員会を担当しました。我がクラブは、登録委員会を担当し、大会を無事に終えることができました。

本当にこの一年間、みなさまに御支援いただき、ありがとうございました。無事にバトンタッチできそうです。感謝。

< 今 月 の ^{うた} 詩 >

“ 新聞のにおいに朝を感じ
冷たい水のうまさに夏を感じ
風鈴の音の涼しさに夕暮れを感じ
かえるの声はっきりして夜を感じ
今日一日も終わりぬ
ひとつの事ひとつの事に神様の恵みと愛を感じて ”

小学4年生の時、赤痢にかかりその高熱によって脳性麻痺を起こし、やがて見ることも聞くこと以外の機能をすべて失い、話すことも書くことも出来なくなったが、母親が何とか彼と意思の疎通をしようと五十音順を指で指し示したところ、目の動きで応答した。これが47歳で死去するまでの彼の唯一のコミュニケーション手段となる。「瞬きの詩人」と呼ばれるようになったのはそのためである。12歳の時母親が置いた聖書を読みやがてクリスチャンとなる。18歳の時から詩作を開始し多くの作品を生み出す。その詩風は神への喜びを表す純粋な詩であった。

～ 水野源三 詩集 「わが恵み汝に足れり」主婦の友出版より ～